

授業の流れ (スタンダード)

授業の流れを教科ごとに統一することで、どの学年になっても同じ流れで授業ができ、子どもたちがスムーズに授業を受けられます。

すべての授業で、最低限あるべき流れ
「ちちぶミニマムスタンダード」

5 steps

課題やねらいの提示

- 【課題設定の工夫】
- 【導入や教具の工夫】
- ・おもしろそうだな。
- ・何ができるようになるばよいかわかるな。
- ・なぜなんだろう？

1 つかむ



2 考える



3 深める
広げる



4 確かめる



5 振り返る

自分の考えをもつ時間

- 【思考時間の確保】
- 【思考ツールの活用】
- 【子どもの考えを引き出す発問】
- ・これまでどんな学習をしたかな。
- ・この手順で課題を解決していこう。
- ・文章、図、グラフを見よう。
- ・観察したり、調べよう。

学び合い・話し合い

- 【学習形態の工夫】
(ペア・グループ・一斉)
- 【話し合いスキルの提示】
- 【共通点、相違点の気づき】
- 【考えの共有】
- 【考えの検討からより深く自分で考える】

本時の振り返り

- 【自己の学び（考え方や態度）について書く】
- 【振り返りシートの活用】
- ・～がわかった！
- ・～ということに気がついた。
- ・〇〇さんの考えを聞いて～と思った。
- ・次は～をやりたい。

本時のまとめ

- 【本時の学習内容についてまとめる】
- 【子どものことばで（教師が）まとめる】
- ・今日の授業ではこういうことがわかったぞ！
- ・今日の勉強のポイントがはっきりしたな。



◆ まとめの例 ◆

平行四辺形の面積は、「底辺×高さ」で求められることがわかった。

◆ 振り返りの例 ◆

〇〇さんの意見を聞いて、2つに分けて考えればよいことがわかった。次に同じような問題が出たら、私も同じように分けて考えてみたい。

授業の流れ（スタンダード）例：小学校算数の場合

段階	具体的な学習活動例（児童の活動）
つかむ	<p>1 問題の把握（どんな問題か、確かめよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかっていること をしっかりと確認させよう。 ・聞いているところ <p>2 答えの予想（答えを予想しよう）</p> <p>3 課題またはめあての設定（今日の課題またはめあてを書こう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の問題から課題を導き、ノートに書かせよ <p>4 解決の見通し（解決の見通しを立てよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習したことを使えるか、似ている問題はなかったか、考えさせよう。
	<p>5 自力解決（自力解決をしよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵や図、言葉や文で表す」ことで自分の考えをまとめさせよう。 ・他の方法で考えさせよう。 ・実物の操作活動をさせよう。
	<p>6 考えの説明（自分の考えを説明しよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループ活動を通して自分の考えを説明させよう。 <p>7 練り上げ（よりよい考えを見つけよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループ活動、一斉授業で他者の考えを聞く時間を確保しよう。 ・自分の考えと他者の意見を比較させよう。（似ているところ、違っているところ）
	<p>8 まとめ、練習（課題のまとめをしよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の学習内容についてのまとめを全体で確認し、ノートに書かせよう。 ・適用問題を行おう。
振り返る	<p>9 振り返り（ふりかえりタイムをしよう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学び（考え方や態度など）をノートに書かせよう。

学び合いタイム

※まとめや振り返りの時間に共有を図りたい場合は発表させよう。

